

2015年4月1日～2024年3月31日の間に 当科において緑内障を疑われ、光干渉断層撮影と 視野検査を受けられた方及びご家族の方へ

—「緑内障眼におけるOCT画像加工解析所見と視野障害の関連性」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	大内 達央
研究分担者	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	山下 力
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	荒木 俊介
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	後藤 克聡
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	水上 菜美
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	三宅 美鈴
	川崎医科大学附属病院	眼科	主任視能訓練士	春石 和子
	川崎医科大学	眼科学1	准教授	家木 良彰
	川崎医科大学	眼科学1	教授	三木 淳司

1. 研究の概要

緑内障は我が国における失明原因の上位であり社会的にも非常に重要な疾患です。緑内障による視野障害は基本的に進行性かつ非可逆的であるため、緑内障による視神経障害および視野障害の早期発見が重要な課題となっています。光干渉断層撮影は非侵襲的に網膜の微細構造の評価が可能で、緑内障の構造的変化の評価に用いられています。本研究では、緑内障眼における網膜および視神経乳頭の構造変化、眼血流変化、機能変化（視野障害出現部位や網膜感度）の関連性や病態について検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年4月1日～2024年3月31日の間に川崎医科大学附属病院眼科において緑内障を疑われ、光干渉断層撮影と視野検査が実施された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

2015年4月1日～2024年3月31日の間に当院において緑内障に対する検査を受けられた方を対象に、研究者が診療情報をもとに眼科一般検査のデータを抽出し、網膜の構造的障害、視野障害に関する分析を行い、臨床的有用性について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢・性別・既往歴・現病歴・視力検査・屈折検査・眼圧検査・視野検査・中心フリッカー・光干渉断層撮影の結果等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院眼科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 眼科・視能訓練士

氏名：大内 達央

電話：086-462-1111 内線 24647（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：ouchi@mw.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。